



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月28日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 4463 URL https://www.nicca.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	11,496	9.7	702	414.7	827	386.0	1,034	889.0
2020年12月期第1四半期	10,476	△9.4	136	3.5	170	77.2	104	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 2,073百万円 (—) 2020年12月期第1四半期 △612百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年12月期第1四半期	円 銭 65.72	円 銭 —
2020年12月期第1四半期	6.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2021年12月期第1四半期	百万円 54,896	百万円 24,952	% 41.6	円 銭 1,451.50
2020年12月期	53,175	23,166	39.5	1,335.60

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 22,852百万円 2020年12月期 21,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年12月期	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 10.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	5.6	1,500	5.9	1,500	△8.8	1,300	24.5	82.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	17,710,000株	2020年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	1,966,260株	2020年12月期	1,972,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	1,970,760株	2020年12月期 1 Q	15,721,240株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業で改善が見られたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い大都市圏で緊急事態宣言が再発令され、経済活動の制限がなされました。緊急事態宣言の解除後は、徐々に経済活動が再開されましたが、断続的な感染症の拡大に伴い経済活動の制限が継続しております。また、世界各国の経済は新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいる一部の地域で景気回復の兆しがみられましたが、国内外ともに依然先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは、永続的成長に向けて2025年までの全社基本ビジョンを「世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー」と掲げ、3つの経営軸（「Innovation」「Efficiency」「Sustainability」）のもと、激変する経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる価値を提供する事業に注力することで、着実に成長を遂げる真に強い企業集団へと生まれ変わるため、新たな5か年中期経営計画『INNOVATION25』（2021-2025）を掲げ、5つの全社基本戦略（「事業構造の大転換」「生産性改革」「財務基盤の強化」「サステナブル経営の推進」「大家族主義の進化」）に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は11,496百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益702百万円（同414.7%増）、経常利益827百万円（同386.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,034百万円（同889.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

(化学品事業)

売上高は7,792百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は396百万円（同47.6%増）となりました。

コロナ禍の影響が継続しているものの、自動車分野など一部の領域で回復基調が見られ、特殊樹脂モノマーや環境衛生関連薬剤が堅調に推移しました。また、アジア通貨に対する円安の影響もあり売上高は増加しました。

このような状況の中、昨年から実施している経費抑制の継続、一昨年実施した設備投資による減価償却費の減少により、セグメント利益は増加しました。

(化粧品事業)

売上高は3,613百万円（前年同期比31.4%増）、セグメント利益は791百万円（同129.7%増）となりました。

当社デミ コスメティクスにおいては、年初からの緊急事態宣言による市況悪化の影響を受けたものの、主力ヘアケアブランドの拡販等により売上高が増加する等、堅調に推移いたしました。山田製薬株式会社においては、大口受託案件の新商品増産に加えて手指消毒剤の受注が引き続き好調に推移しました。その結果、化粧品セグメント全体では売上高及びセグメント利益ともに増加しました。

(その他)

売上高は90百万円（前年同期比28.9%減）、セグメント損失は8百万円（前年同四半期はセグメント利益3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,720百万円増加し54,896百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が395百万円減少した一方、現金及び預金が1,247百万円及び商品及び製品が685百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、65百万円減少し29,943百万円となりました。この主な要因は、流動負債のその他（主に前受金）が219百万円増加した一方、借入金が218百万円及び賞与引当金が222百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,786百万円増加し24,952百万円となりました。この主な要因は、非支配株主持分が46百万円減少した一方、利益剰余金が939百万円、為替換算調整勘定が727百万円及びその他有価証券評価差額金が144百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,962	9,209
受取手形及び売掛金	9,026	8,631
商品及び製品	4,224	4,909
仕掛品	735	595
原材料及び貯蔵品	3,066	3,407
その他	963	909
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	25,977	27,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,607	13,550
機械装置及び運搬具(純額)	4,033	3,817
土地	5,261	5,320
その他(純額)	824	822
有形固定資産合計	23,726	23,511
無形固定資産		
その他	304	293
無形固定資産合計	304	293
投資その他の資産		
その他	3,167	3,430
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,166	3,430
固定資産合計	27,197	27,235
資産合計	53,175	54,896

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,325	5,365
短期借入金	8,033	8,418
未払法人税等	357	447
賞与引当金	556	334
その他	3,088	3,307
流動負債合計	17,361	17,874
固定負債		
長期借入金	8,267	7,664
退職給付に係る負債	3,223	3,243
株式報酬引当金	75	83
その他	1,081	1,078
固定負債合計	12,647	12,069
負債合計	30,009	29,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	2,928	2,928
利益剰余金	16,909	17,849
自己株式	△1,465	△1,459
株主資本合計	21,271	22,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	365	509
為替換算調整勘定	△308	419
退職給付に係る調整累計額	△309	△293
その他の包括利益累計額合計	△251	635
非支配株主持分	2,146	2,100
純資産合計	23,166	24,952
負債純資産合計	53,175	54,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	10,476	11,496
売上原価	7,029	7,473
売上総利益	3,446	4,023
販売費及び一般管理費	3,309	3,321
営業利益	136	702
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	4	—
持分法による投資利益	5	—
為替差益	22	50
受取補償金	25	—
債務免除益	—	62
その他	57	47
営業外収益合計	124	168
営業外費用		
支払利息	19	13
売上割引	19	18
持分法による投資損失	—	0
通貨スワップ評価損	39	—
その他	12	11
営業外費用合計	90	43
経常利益	170	827
特別利益		
固定資産売却益	0	520
投資有価証券売却益	10	—
補助金収入	33	—
特別利益合計	44	520
特別損失		
固定資産除却損	0	2
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	2
特別損失合計	1	5
税金等調整前四半期純利益	213	1,342
法人税等	66	267
四半期純利益	146	1,075
非支配株主に帰属する四半期純利益	42	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	104	1,034

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	146	1,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	144
為替換算調整勘定	△675	838
退職給付に係る調整額	19	15
その他の包括利益合計	△759	998
四半期包括利益	△612	2,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△544	1,921
非支配株主に係る四半期包括利益	△68	151

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（追加情報）

（会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,598	2,749	10,348	127	10,476
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	2	2	17	19
計	7,598	2,751	10,350	145	10,495
セグメント利益	268	344	612	3	616

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	612
「その他」の区分の利益	3
セグメント間取引消去	4
全社費用（注）	△484
四半期連結損益計算書の営業利益	136

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,792	3,613	11,405	90	11,496
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	21	21	19	40
計	7,792	3,634	11,427	110	11,537
セグメント利益	396	791	1,187	△8	1,179

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,187
「その他」の区分の利益	△8
セグメント間取引消去	19
全社費用(注)	△496
四半期連結損益計算書の営業利益	702

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。